

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 北海道

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	恵庭市立恵み野小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	2	1	2	2	3	13	18
児童数	43	21	46	36	44	49	10	248	

研究の概要

1. 研究主題

学ぶ楽しさを知り,自ら学び,考える子どもの育成
～個に応じた指導の工夫改善を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数
 ・これまでの研究成果と児童に対する実態調査の結果から,自ら学び,意欲をもって学習に望む子どもを育てるため。
 ・児童の理解の状況に差がしやすい教科であるため。
 ・基礎・基本の定着を図るため。

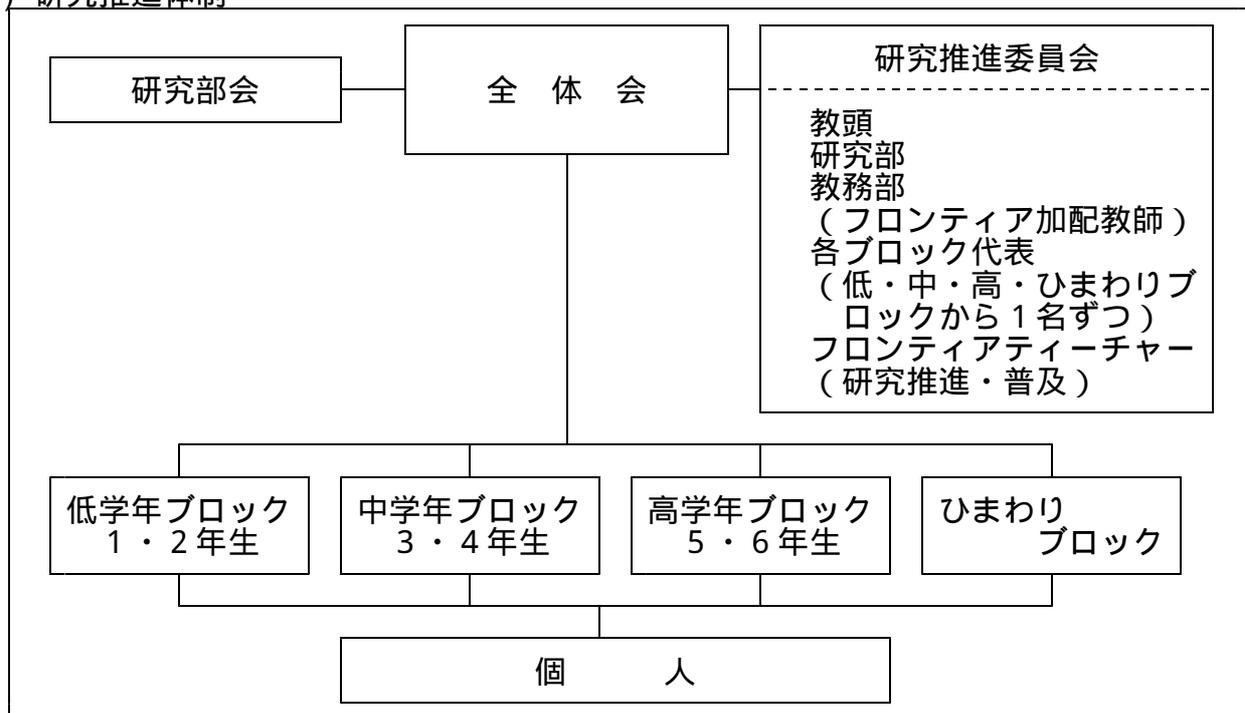
(2) 年次計画

平成14年度
 平成15年度からの新規指定校のため,平成14年度の実施はありません。

平成15年度
 テーマ
 学ぶ楽しさを知り,自ら学び,考える子どもの育成
 ～個に応じた指導の工夫改善を通して～
 仮説
 算数科の学習において,子どもの思いや願いを生かし,チームティーチングによる指導,少人数(習熟度別)指導など個に応じた指導を工夫改善することにより,基礎・基本の定着がなされ,また互いに学び合い,認め合う子どもを育てることができる。
 研究の内容・方法
 ・児童の算数科に対する意識の把握
 ・算数科における基礎・基本の共通理解
 ・個に応じた指導のための教材開発
 ・TT指導による効果的な指導方法の工夫

平成16年度
 テーマ
 学ぶ楽しさを知り,自ら学び,考える子どもの育成
 ～個に応じた指導の工夫,改善を通して～
 仮説
 算数科の学習において,子どもの思いや願いを生かし,チームティーチングによる指導,少人数(習熟度別)指導など個に応じた指導を工夫改善することにより,基礎・基本の定着がなされ,また互いに学び合い,認め合う子どもを育てることができる。
 研究の内容・方法
 ・算数科における基礎・基本の定着を図る評価の工夫
 ・TT指導や少人数(習熟度別)指導による効果的な指導方法の工夫
 ・個に応じた指導のための教材開発
 ・学力向上の実態及び変容の把握

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

児童から「算数が好きになった」「困ったときにすぐ質問できる」という声が聞かれるようになるなど、わかる・できる喜びや学ぶ楽しさを感じることで児童が増えてきている。

児童の学習意欲の向上が見られ、基礎・基本の定着も見られるようになってきている。

担任とTT教師（フロンティア加配教師）が協力して授業（TT指導）を進めることで、授業の中で児童へのかかわり方や評価を生かした指導などについて、T1・T2両方の立場から交流することができた。

2. 今後の課題

TT教師と担任との打合せの時間をいかに確保し、授業の準備を進めていくか考えていく必要がある。

児童の学習状況（「どこまで理解しているのか」「どこでつまずき、間違えているのか」など）を把握し、その情報をどのような方法で互いに交流し合い、評価へ結び付けていくか考えていく必要がある。

個に応じたきめ細かな指導（TT指導・少人数指導など）の充実を図るため、指導方法の工夫・改善を図っていく必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

国語と算数の学力検査を、年1回実施した。

児童・保護者に対して、算数の学習内容やTT指導、少人数指導についてのアンケートを実施した。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

地域・保護者に対する説明・報告

・保護者に対し、参観日の懇談（学級・学年）の機会に、TT指導や少人数指導について、児童の学習中の様子などを交えながら説明した。

・地域・保護者に対し、学校だより（フロンティア通信）を通してTT指導や少人数指導、児童の学習中の様子などについて紹介した。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T.Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科） 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無